

豚熱対応に延べ66社

群馬建協

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、1月に前橋市で発生した豚熱の防疫作業に会員企業を派遣、全作業が完了した2月1日までに延べ66社184人が尽力した。写真。



1月22日の発生通報、23日の豚熱確定後、24日には群馬県から建協に協力依頼があり、同日から重機を投入して現場作業を開始していた。

作業は全9日にわたり、対象5529頭を、重機を使用して掘削した2カ所の溝に埋立処分した。

作業に当たった企業は▽泉野建設▽塩原建設▽宮下工業▽月白工業▽橋元興業▽須田工業▽松島工業▽鶴川興業▽立見建設▽大野工業▽三原工業▽志村工業▽池下工業——となる。

延べ184人が防疫作業に従事した（群馬建協提供）



10例目の豚熱防疫業務完了

群馬建協 延べ66社、184人が作業

群馬県建設業協会（青柳剛 会長）の前橋支部（泉野高志 支部長）は、県内10例目となる前橋市の豚熱（CSF）防疫業務を1日に終えた。豚熱は同市の養豚場で1月23日に発生。5529頭の豚を県との協定に基づき殺処分した。発生から10日間の総従事者数は延べ66社、184人。現場作業は県の要請を受けて同日から開始し、ローテーションを組んで埋却溝掘削や殺処分した豚の運搬・埋却などに当たった。

群馬建協と前橋支部はCSF対策本部を同23日に設置し、作業を進めてきた。埋却地は豚舎から約500㍍地点。翌日から重機を搬入し、埋却溝（長さ35・6㍍×幅6㍍×深さ4㍍）2本の掘削と、目隠しフェンス（約220㍍）設置を始めた。2本目の埋却溝は長さを41㍍に伸ばした。

対策本部を通じて県との連携を密にし、1日までに埋め戻し作業や承水路掘削、石灰散布などが完了した。

作業に従事した企業は次の通り。

- ▽泉野建設▽塩原建設▽宮下工業▽月白工業▽橋元興業
- ▽須田工業▽松島工業▽鶴川興業▽立見建設▽大野工業
- ▽三原工業▽志村工業▽池下工業

群建協

13社延べ184人が対応

前橋市での豚熱防疫作業

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は1月23日に前橋市内で発生した豚熱（CSF）について、1日に防疫作業が完了したことを明らかにした。1月24日に山本一太知事から青柳会長に協力依頼があり、同日から埋却などの防疫作業を開始。地域の建設業13社から延べ184人が対応し、5529頭の全頭殺処分に対応した。

「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する基本協定」と「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」に基づき埋却溝の掘削や埋却などの作業に従事した。

県内におけるCSF

は、2020年9月に高崎市で初めて確認されて以来、前橋市（21年4月発生）、桐生市（同年8月）、前橋市（同年10月）、桐生市（同年11月）、太田市（22年4月）、桐生市（同年5月、同年6月）、板倉町（同年9月）で発生し、10例目となる。

作業に従事した企業は

- ◇泉野建設◇塩原建設◇宮下工業◇月白工業◇橋元興業◇須田工業◇松島工業◇鶴川興業◇立見建設◇大野工業◇三原工業◇志村工業◇池下工業
- の13社（順不同）。